

建築が成立している現実社会について問題意識をもって設計課題に取り組み、新しい建築の可能性を探ります。これまでの常識にとらわれない独創的な視点で、建築の設計提案を提示することによって、現実社会の価値観をシフトするような新しい建築の可能性を探ります。

■ 評価基準

- 1 提案内容が、建築の設計であり、新しさ・批評性を持ちうる提案になっているか。
- 2 エスキース、中間発表、最終提出作品が、3年後期課題としての量と質があるか。
- 3 最終提出作品の評価と講評会におけるプレゼンテーションの評価。

第1課題：松濤プロジェクト ----都心部における住宅+ α の新しい可能性を提案する----

期間：11.09.08~11.10.14 (担当：布施茂、若松均)

都心部(渋谷区)における住宅+ α のプロジェクトを企画、計画し、設計するプロジェクトが、第一課題です。建築の設計は、敷地や機能などの設計条件、建築的な要素などが設計の手がかりとなります。今回の課題では、自らがテーマをひとつ設定し、それに基づいて計画・設計することを条件とします。それは、都市との関係、+ α の用途、光、スケール、素材の建築要素、壁、窓、屋根などの部位、構造、設備など各自の着目点を意識し、自由にテーマを設定した建築の新しい可能性を提案して下さい。

- 敷地：東京都渋谷区松濤1-29-11
- 敷地面積：215m²/用途地域：第1種住居地域、第3種高度地区
- 計画規模：300m²程度(住宅+ α) (住宅と+ α の比率は自由)
- α の用途は、店舗、仕事場、賃貸住居等...各自自由に想定し、立地条件を活かす機能を条件とします。
- 敷地周辺環境に対する提案を含め、建築の新しい提案をすること。

第2課題：武蔵野美術学園プロジェクト ----教育施設の新しい可能性を提案する----

期間：11.10.14~11.12.9 (担当：布施茂、武井誠、若松均)

武蔵野美術大学の前身である帝国美術学校の発祥の地に建つ、吉祥寺の武蔵野美術学園の再開発プロジェクトが、第2課題です。武蔵野美術学園は、18歳から77歳までの幅広い年代が、美術、デザインを学ぶアートスクールです。現状の武蔵野美術学園の機能を拡充し、新たに武蔵野美術大学と連携した機能を提案して計画、設計することを条件とします。生涯学習における美術教育を担う武蔵野美術学園が、美術の情報発信の場として吉祥寺の街との関係を考えて、単なる学校施設ではない新しい可能性を提案して下さい。

- 敷地：東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7
- 敷地面積：3,550m²/用途地域：第一種中高層住居地域、第二種高度地区、地区計画(高さ15M限度)
- 計画規模：約5,000~6,000m²(現状の学園機能に提案することは自由)
- 武蔵野美術学園のカリキュラム等、現状の条件をリサーチして全体計画をすること。
- 積極的な提案であれば、既存の武蔵野美術学園の施設を利用したりノバージョンも可能。
- 吉祥寺の街に開かれた教育施設として、新しい提案をすること。

※ 設計計画Ⅲ (布施スタジオ) の課題資料は、<http://studio.fuse-a.com> から Download すること